

学力向上にかかわる検討課題

中野区が目指す学力

教育委員会では、学力を単なる知識の量ではなく、基礎的・基本的な知識や技能はもとより、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などの資質や能力までも含めたものとしてとらえ、変化の激しいこれからの社会で柔軟に対応する力や将来直面する様々な課題を解決する力が重要だと考えている。

学校教育ではその基礎となる力を育成することが重要である。

- (1) 全ての児童・生徒に社会の一員として自立するための資質や能力の基礎となる学力（学習指導要領に示されている力）を定着させること。
- (2) 子どもは本来もっている知的好奇心を喚起させ、自ら興味・関心をもたせ、課題を追究しようとする意欲をもたせる。
- (3) 子どもたちの学習習慣の定着を図る。
- (4) 児童・生徒一人一人の興味や関心に応じた発展的な学習の機会を保障し、子どもたちのよさや可能性を伸長する。

教科の課題

【国語】

- ・ 文学的文章の指導においては浅く広くの傾向があり、深い読みを目指した学習が展開されていない。
- ・ 「語彙が乏しい」「漢字力が減退している」「学年進行に従い書く力が落ちる」が言語事項における課題となっている。

【社会】

- ・ 基礎的・基本的な知識、概念が身に付いていない。
- ・ 作業的体験的な学習が、知識・技能として身に付いていない。課題を与えられれば取り組むが、自分から進んで調べる子どもの割合が低い。

【算数・数学】

- ・ 学習した用語の意味を正しく理解していない。
- ・ 創造性や数の構成の理解が不足している。

【理科】

- ・ 観察・実験の経験が少なく、その結果を自分の知識・理解として定着が図られていない。・ グラフや図の読解が弱い。

学 力 調 査

学力向上に向けた現在の取り組み例

1 教育委員会の取組

- (1) 教員の授業力向上を図る
 - ・ 教育マイスター制度の導入
 - ・ 年次研修における授業研究及び指導法研修
- (2) 児童・生徒の個に応じた指導の充実を図る
 - ・ 学力向上アシスタントの導入
 - ・ TT・少人数加配
- (3) 学校の特色を生かした学力の向上を図る
 - ・ 特色ある教育活動の推進
 - ・ 各校への指導訪問

2 各学校の取組

- (1) 確かな学力の定着を図る
 - ・ 授業改善推進プランの作成・実施
 - ・ TT・少人数指導計画の作成
 - ・ 長期休業（夏季休業）における学習教室の実施
- (2) 個に応じた学習を支援する
 - ・ 夏季休業前及び夏季休業中の個人面談の実施し、個の課題に応じた学習の取組への示唆

学力向上にかかわる検討課題

1 授業改善

- (1) 基礎・基本の確実な定着⇒積み残さない工夫
- (2) 活用型学習による使える知識の獲得
- (3) 思考力・判断力の育成
- (4) 体験活動を学習につなげ、確かな学力の定着を図る
- (5) 習熟度別少人数指導指導の指導方法の確立
- (6) 授業力向上を目指す授業研究の日常化
- (7) 教員の授業力にかかわる暗黙知の継承

2 学習習慣の定着

- (1) 家庭の協力による学習習慣の確立
- (2) 学習課題（宿題）について学校の統一的取り組み
- (3) 宿題から自主的な学習への発展

3 学びのスキルの定着

- (1) 学習用具の使い方、ノートの取り方等の技能
- (2) 学習への取り組み姿勢づくり
- (3) 学習を支える精神力と体力

学力向上に向けた具体的取り組み（案）

1 「中野区ミニマムスタンダード」の策定

- ・ 「どの学校でも、だれでも指導する基準」として
- ・ その学年で身につけるべき基礎的内容を確実に指導する
- ・ 身に付いていることの確認システム（「検定」等）
- ・ 学びのスキルの一般化と学年指導内容の検討

2 教員の授業力向上

- ・ 互いに学ぶ学校組織
- ・ 異校種から学ぶ教員
- ・ 授業力の評価規準、評価方法の検討

3 家庭・地域の教育力の向上

- ・ 家庭への啓発（⇒教育基本法）
- ・ 学校で獲得した学習内容を実践する場としての地域

学校間連携

保護者との連携

地域との連携